

7

[盆踊り練習の会]

入念な準備は、踊りに関しても同様です。いきなり本番で踊るのではなく、事前に2日、練習日を設けています。練習場所は自治会館大広間。全曲踊ってみて、細かな振り付けも確認いたします。新たに取り入れた、「東京五輪音頭」は、それぞれの競技を振り付けに取り入れたもので、覚えるのに一苦労。それでも、本番に向けて、熱心で、真剣で、笑い声が絶えない、練習風景となりました。



8

[踊り手の皆さま]

櫓の上では、多くの皆さまが盆踊りを披露してくださいます。壇上の踊り手は、みんなの良いお手本になります。悠遊踊ろう会の皆さまはじめ、商店街婦人部、小中学校の先生、保護者の皆さま。お仕事を終えて、急いで駆けつけて下さる、揃いのはっぴ姿の地元の銀行の皆さまの登場は、大きな拍手で迎えられます。



9

[盆踊り外交]

法人格砧町自治会は、主催の納涼盆踊り大会のほか、近隣の町会や団体の盆踊り大会にも参加協力致します。相互に、参加して踊る姿は、この地域の強い絆を感じます。この協力体制は、地域の他のイベントなどでも、大いに力を発揮します。私たちは、これを盆踊り外交と呼んでいます。例年週末は、必ずどこかの盆踊りに参加して、いい汗をかきます。



10

[どうにもならない当日の天候]

大会は、7月の最終週の金曜日、土曜日の2日間です。子供たちの夏休みが始まった頃で、家族連れの微笑ましい姿が多いこの大会ですが、いつも心配の種は天候です。途中で雨が降り出したり、荒天のため1日しか開催できなかったり、前日の大雨でできた水たまりをみんなで砂を運んで埋めたりと、これまでの40回の盆踊り大会では、雨に泣かされたことが何回もありました。開催の度に空を見上げて祈る事は、これからも続きそうです。

